

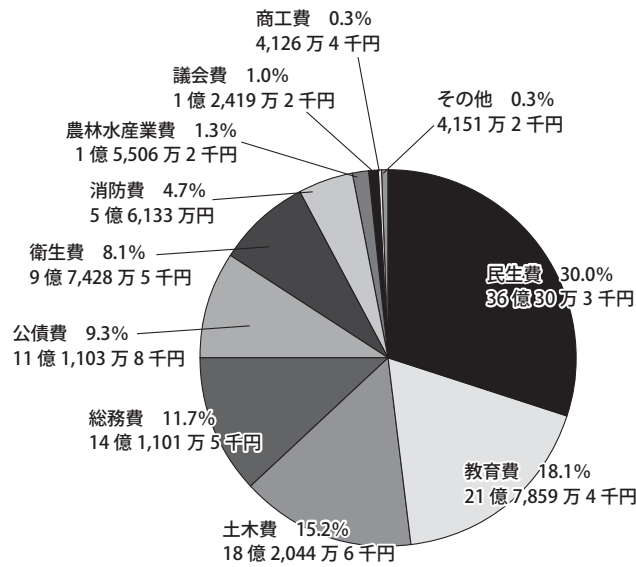
# 決算報告

平成26年度の一般会計と各特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業、上水道事業、簡易水道など）の決算が、議会9月定例会で承認されました。  
皆さんに納めていただいた税金、国や県から交付される補助金などがいくら入り、どのように使われたのかをお知らせします。

問合せ先  
企画財政課（979-8101）

## 一般会計 歳出 総額：120億1,904万1千円

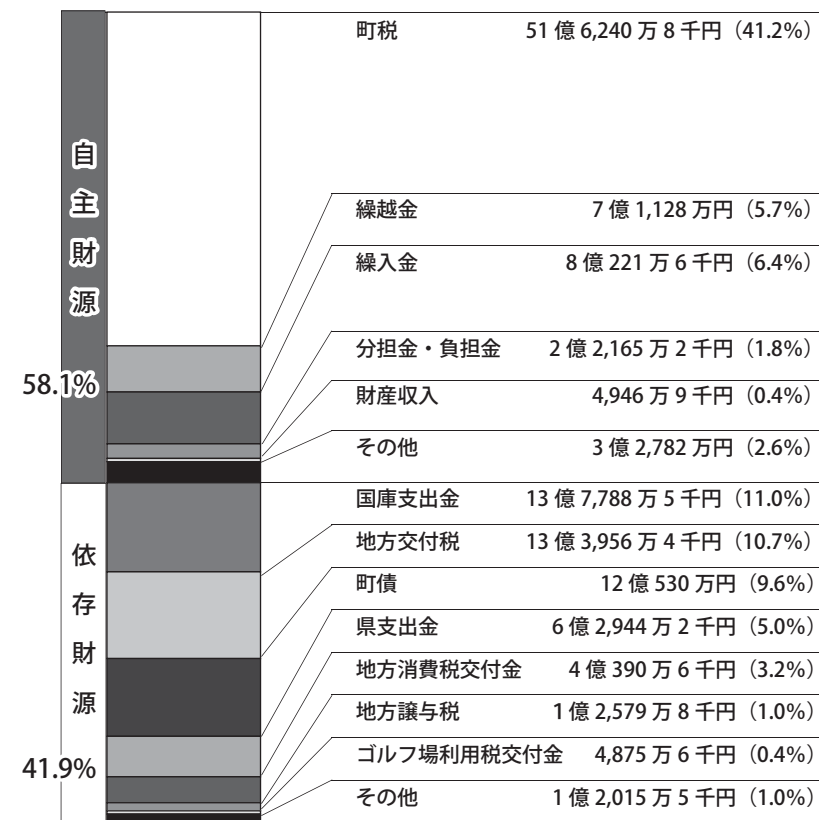
<目的別経費の内訳>



<性質別経費の内訳>

人件費	20億2,628万7千円 (16.9%)	義務的経費 42.1%	經常的経費 65.0%	
扶助費	19億2,671万6千円 (16.0%)			
公債費	11億1,103万8千円 (9.2%)			
物件費	18億8070万円 (15.6%)			
補助費等	8億2,435万6千円 (6.9%)			
維持補修費	4,269万8千円 (0.4%)			
補助事業費	12億5,073万6千円 (10.4%)			投資的経費 19.9%
単独事業費	11億3,025万円 (9.4%)			
県営事業負担金など	578万3千円 (0.1%)			
繰入金	14億4,371万2千円 (12.0%)			その他 15.1%
積立金	3億7,676万5千円 (3.1%)			

## 一般会計 歳入 総額：125億2,565万1千円



### 一般会計

一般会計の歳入決算額は125億2千5百65万1千円で、平成25年度と比べて1.9%の減となりました。  
自主財源は平成25年度と比較して5.7%の増、依存財源は10・8%の減。一般会計の歳出決算額は120億1千9百4万1千円で、平成25年度と比べて0.3%の減となりました。

### 歳入

町税歳入が0.1%減  
皆さんから納めていただいた町税（町民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・たばこ税など）が51億6千2百40万8千円で、前年に対して0.1%の減、歳入全体の41・2%を占めています。  
国からの負担金や補助金である国庫支出金は、13億7千7百88万5千円（前年度対比17・4%減）で、歳入の11%を占めています。

### 歳出

また、町税や使用料など町が収入するお金（自主財源）は歳入全体の58・1%で、地方交付税や国・県からの補助金や町債などにより収入するお金（依存財源）は、歳入全体の41・9%を占めています。  
トップは民生費  
目的別の区分で、歳出全体に占める比率のもっとも大きいのが民生費で、36億30万3千円で全体の30%を占めています。

これは、心身障害者、高齢者、児童福祉に係る費用で、医療費の助成や各種福祉サービスの提供、保育園の運営などに要した費用です。次に大きいのが教育費で21億7千8百59万4千円で全体の18・1%を占め、幼稚園、小中学校の維持管理や函南町文化センター、かなみ知恵の和館、かなみ仏の里美術館などの社会教育施設の維持管理などに要した費用です。続いて大きいのが土木費で、18億2千44万6千円で、全体の15・2%を占め、道路や河川、運動公園整備に要した費用の順となっています。また、性質的な区分として、子育て、生活扶助、高齢化などに対するサービスの充実により、扶助費が年々増加しています。

### 1年間で町民1人当たりに使われたお金

民生費 93,480円	教育費 56,566円	土木費 47,267円	総務費 36,636円	公債費 28,848円	衛生費 25,297円	消防費 14,575円	農林水産業費 4,026円
議会費 3,225円	商工費 1,071円	諸支出金 732円	労働費 307円	災害復旧費 39円			

1人当たり：312,069円  
(平成27年3月31日現在の人口38,514人で換算)

### 町民1人当たりが負担した税金に換算

固定資産税 61,562円	町民税 57,548円	町たばこ税 7,221円	都市計画税 5,363円	軽自動車税 2,012円	入湯税 331円	特別土地保有税 3円
------------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------	---------------

1人当たり：134,040円（平成27年3月31日現在の人口38,514人で換算）